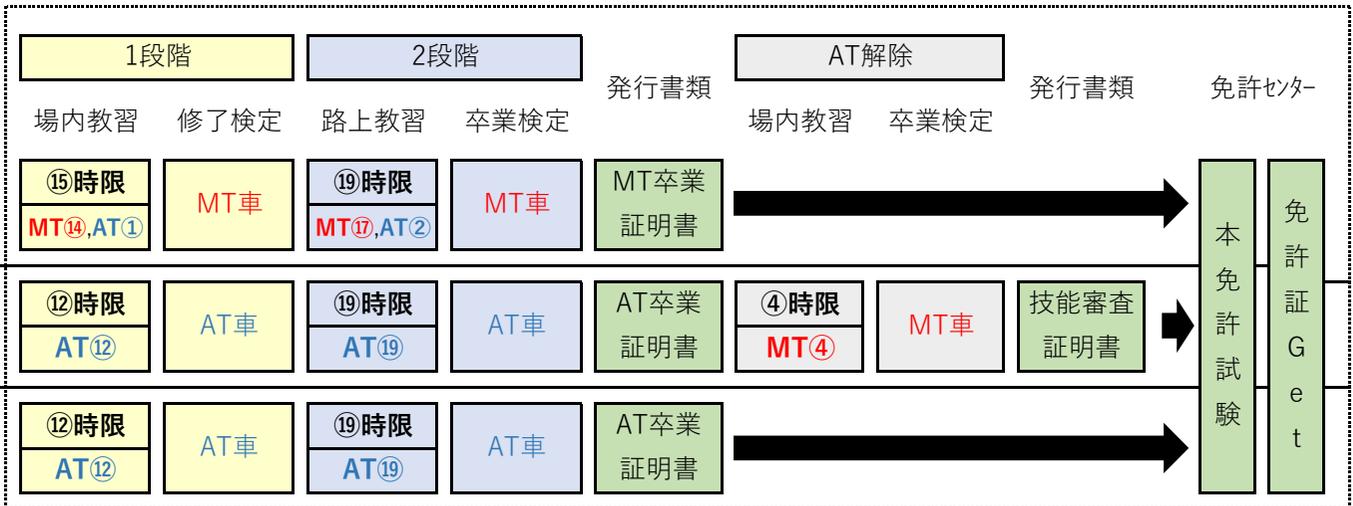


卒業までの教習等の回数

	教習での乗車時限数内訳			検定数
	計	AT	MT	検定
現行のMT教習	③④時限	③時限	③①時限	②回
新追加のMT教習	③⑤時限	③①時限	④①時限	③回
現行のAT教習	③①時限	③①時限		②回

大まかな流れ(学科は省略)



※上記は規定の時限数につき、増加する場合があります。

【教習方法選択の目安】

現行のMT教習	MT車の運転が 決まっている 場合や、すぐに運転しないが とても興味 がある。
新追加のMT教習	将来運転することが あるかも もしれない。本人は 興味がない が念のため取得しておく。
現行のAT教習	新車のほとんどがAT車。MTに絶対乗らない。 少しでも簡単に、早く免許 が欲しい。

【メリット・デメリットの例】

メリット	MT車を多く経験できるため技術が向上しやすい。
デメリット	乗り越し（追加教習等）が発生しやすいため教習料が予定より増える可能性がある。
メリット	クラッチ操作以外の運転技術をしっかり身につけてから④時限でMTを集中的に習得。
デメリット	免許取得後すぐにMT車の運転をしないと技術を忘れる。（現行MTでもありえる）
メリット	教習期間・料金とも少ない。乗り越しリスクが低い。
デメリット	車好きには物足りないかも。